



2020年度 第1回「ブロック連絡会」

〔開催期間〕 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止といたしました。
今回はブロック連絡会で報告を予定しておりました資料を送ります。

〔主催〕 コープあいち理事会



目次

内容	ページ
(報告) 組合員活動 秋に向けて	
① 2019年度 年間の経営結果について	2
② 2019年度の仲間づくりについて	2
③ 「生協商品おためし隊」の見直しについて	3
④ 二酸化窒素 (NO ₂) 測定活動の終了について	5
⑤ 組合員活動 1～3月の取り組みの振り返り	6～9
⑥ 仲間づくり・組合員活動 4～6月の主な取り組み	10～11
⑦ 「組合員参加と運営のしくみ」について	12
(報告交流) 組合員参加と運営のしくみ意見交流 (資料B)	別冊資料
(文書報告) 理事会からの報告・情報提供	
① 地域委員会、くらしのテーマグループ、お店の委員会、子育てひろば、ふれあいひろばの登録状況	13
② 「総代選挙管理委員会」委員の推薦のお願い	14

(報告) 2019 年度 2 月度累計の経営結果について

1. 2019 年 2 月度累計までの経営結果

総事業高は 5 3 3 億 9 千 9 百万円で、前年差△ 1 0 億 9 2 万円となりました。
 経常剰余金は 5 億 6 百万円で、前年差△ 3 千 9 百万円となりました。

(1) 総事業高

実績 5 3 3 億 9 千 9 百万円 (予算比 98.0%・前年比 98.7%)

* 2 月度累計では夕食宅配が予算を達成しました。

(2) 経常剰余金

実績 5 億 6 百万円 (予算差△94 百万円・前年差△39 百万円)

* 経常剰余金は、予算比・前年比とも下回りました。

事業経費はほぼ前年並み、予算内で推移しています。

2. 主な実績

事業名	供給高・事業収入	前年比
コープ宅配供給高	371 億 8 千 9 百万円	98.9%
店舗供給高	88 億 2 千 8 百万円	96.9%
福祉事業収入	21 億 2 千 7 百万円	100.2%
モーニングコープ供給高	5 億 8 千 3 百万円	95.4%
夕食宅配供給高	5 億 3 千 5 百万円	108.8%
その他事業収入 (共済受託収入、コープ宅配料等)	15 億 1 千 5 百万円	108.8%

(報告) 2019 年度の仲間づくりについて

2019 年度はコープあいち全体で 40,000 名 (コープ宅配 35,000 名、店舗 5,000 名) の加入を目標に取り組みました。19 年度累計では、全体で 30,929 名 (計画比 77.3%、前年比 110.1%) の実績となっています。内訳として、コープ宅配は 26,972 名 (計画比 89.9%、前年比 112.7%) となり、計画は下回りましたが、前年を大きく上回る成果を作り出すことができました。店舗は計画比 79.1%、前年比 95.5% と残念ながら計画比・前年比共に下回っています。

19 年度は、『子育て世代』に加え、『共働き世帯』を対象にした取り組みを広げました。春からスタートした「ハピハピボックス」ではテレビ CM と連動した取り組みとなり、年度累計で約 18,000 個をお届け出来ました。組合員になられていない 11,695 名の方へのお届けから約 6,300 名の方に新たに加入して頂きました。「仲間づくりは利用し続けてもらうまで」と位置付けて、組合員一人ひとりとの対話を大切にしたい取り組みとして、接遇研修や宅配対応コンテストも実施して、安心と信頼を笑顔でお届けできる職員育成をすすめました。

「生協商品おためし隊」の見直しについて

1. これまでのとりくみ

(1) はじめに

- ・生協商品おためし隊は、組合員が生協商品を試しながら、商品や子育て、暮らしのことなどを話題におしゃべりの輪を広げることを目的に始まりました。また交流を通じて加入されていない方へのお誘いにつなげる活動も行ってきました。
- ・これまで年間で1,000件、参加者は1万人程度の申し込みをいただいておりますが、さらに多くの商品利用や活動の広がりが作れず、また寄せられた声などは充分活用されているとはいえませんでした。

これまでの「生協商品おためし隊」の内容はこのようなものでした。

名称	内容
生協商品おためし隊	<ul style="list-style-type: none">・生協商品のお試しから利用（未加入者は加入）につなげる取り組みとして2014年から運用開始。・参加組合員1人当たり1回300円の補助・組合員1人を含む大人3人以上で年4回開催可（1回最大3千円が上限）・未組合員は年1回のみ補助対象

(2) 「生協商品おためし隊」について、以下の課題がありました。

①申し込む方が同じ方や同じグループが多く、新たな方に広がっていません。

生協商品おためし隊の利用者については、新たな方にご利用いただくひろがりがついていません。申込みいただく方々固定化しつつあるのが現状です。

②「おためし隊」を申し込んでも、その後の商品利用にはつながっていません。

「おためし隊」を通じていただいた声は商品・組合員活動支援部にて、特徴的な意見を東海コープ事業連合とも共有しています。しかし「おためし隊」で試食された商品がどれだけ利用に結びついたのかは事実上の数値把握は困難な状況です。

③未組合員に利用いただいても、あらたな加入につながるケースが少ないです。

未組合員の利用はありますが、加入に結びつくケースはほとんどありません。

④利用回数制限など、ルールが守られていないケースがあります。

・年間4回までの利用制限がありますが、5回以上の利用をされている方も名簿には見受けられます。申込書類や利用代金の精算処理などで不備（名前が抜けている、組合員特定ができない、請求金額間違いなど）も多く、目的である利用の広がりや寄せられた声の活用に向けて仕組みの見直しが必要です。

2. 2020年度からの運用について

以上のような現状をふまえて2020年度は運用方法を変更します。

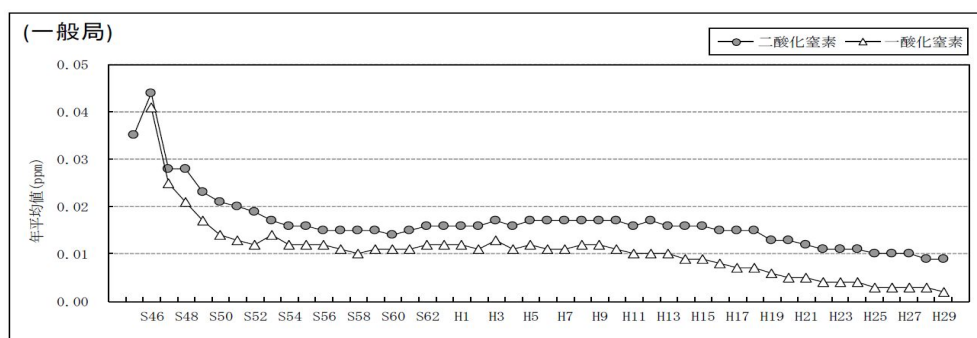
- ① 現在運用している「生協商品おためし隊」については、2020年度の上半期（9月末日）で廃止とします（同日受付まで対応します）。
組合員には4月のブロック連絡会でご案内し（開催中止となったため、資料をお送りすることでお知らせします）、ウィズコープやホームページでも幅広く案内します。
- ② 「生協商品おためし隊」は「組合員参加と運営」の柱1のとりくみと位置付けてすすめてきましたが、事業にしっかり結びつくあらたな仕組みとして『組合員モニター制度』を提案できるよう検討しています。

二酸化窒素（NO₂）測定活動の終了について

コープあいちでは、これまで20年以上にわたり、組合員のみなさんのご協力により、大気汚染の指標のひとつである二酸化窒素（以下、NO₂）の測定活動を続けてきました。

近年は大気汚染の指標のひとつである NO₂ の排出状況も以前より改善がすすみ、コープあいちの測定結果も特定の条件（車庫内など）以外では基準をはずれることはなく推移し、全国の傾向と同じく愛知県でも大気汚染の状況はずいぶん改善がすすみました。

平成 29 年度 NO₂ 環境基準達成率の推移（環境省）



測定活動を始めたころは、全国的にも公害が問題になっており、大気汚染の状況も今とはずいぶん違う状況でした。当時、愛知県でも日本生協連の全国の生協への呼びかけに応え、NO₂測定活動を生協として取り組みはじめました。

愛知県のメッシュ測定への協力なども経て、配達時の測定用カプセルの注文とともに、組合員活動グループとして年2回、6月と11月の第2木曜日の一斉測定日に協力をしていただけてきました。

その結果は、生協の広報誌にわかりやすいカラー地図として行政区ごとに平均値を掲載し、公表してきました。

全国の取り組みとも歩調を合わせ、このような地道な活動を継続する中、みなさんの活動も社会に警笛を鳴らす結果となり、大気汚染防止法や自動車排出ガス規制など法的な整備もすすみ、大気汚染にかかわる社会情勢の大きな変化にもつながったと思われまます。

現在、愛知県では大気汚染の常時定点自動観測が続けられています。

以上のことをふまえ、コープあいちとしての NO₂測定活動については、2019 年度をもって終了とさせていただきます。

長年にわたりご協力またご尽力いただき、誠にありがとうございました。

ただ、まだまだ名古屋南部地域（主に国道23号周辺）の交通量削減や、新たな問題としてPM2.5、CO₂排出量の増加による地球温暖化、関連して原発に頼らない再生エネルギーの普及も喫緊の課題としてあり、また、プラスチック問題、食品ロス削減の推進も、組合員のみなさんの関心の高い課題となっています。

NO₂測定活動については、終了とさせていただきますが、これからもSDGsの目標として関連するさまざまな課題に、組合員のみなさんとともに取り組んでいきますのでご理解とご協力をお願いいたします。

組合員活動 1月～3月の取り組みの振り返り

1. 新型コロナウイルス感染症拡大の影にともなう対応

1月26日に愛知県内で初の感染者が報告され、コープあいちでもまず役職員や事業所内で感染発生がないように対策を講じながら事業を続けてきました。また組合員活動については3月からの中止をお願いし、会議室などの組合員施設についても3月中は貸し出しを中止しました。

またこの時期に開催予定であった組合員活動オリエンテーションも中止しました。

2. 平和・ユニセフ活動

① ユニセフお年玉募金活動の取り組み

宅配・店舗で多くの募金をいただき、ありがとうございました。いただいた募金は、ユニセフ協会を通じて世界各地のユニセフの活動に活用される「一般募金」と「ミャンマーの栄養支援プログラムに活用される「指定募金（100万円）」に活用されます。

募金総額：4,288,920円

② 3.1ピクニック集会（中止）

③ ICAN 書き損じハガキ回収のとりくみ

フィリピンで生活支援活動を行う認定NPO法人アイキャン（ICAN）（名古屋市）と連携し、学習交流、書き損じはがき等の回収協力をしています。

2020年1月1日～3月20日までの集約数は、書き損じハガキ 31,523枚他、換金できる切手等を合わせて合計2,053,901円分となりました。ありがとうございました。

※2020 ICANスタディーツアーは現地フィリピンでの新型コロナウイルス感染症拡大のため、派遣中止となりました。

③ NPT（核兵器不拡散条約）再検討会議（開催延期）

④ NPT（核兵器不拡散条約）再検討会議での被爆者活動支援募金 272,601円

2020年4～5月に予定されていた国連NPT再検討会議が延期されました。今後の核兵器廃絶を求めるとりくみでは「ヒバクシャ国際署名」最終集約が2020年9月であり、それに向けて7月に「ヒバクシャ国際署名」を行います。

署名をあつめるとりくみをさらにすすめましょう。

3. 環境活動

1～3月はありませんでした。

4. 復興支援・防災活動

①復興支援募金の活用

3月2週～5月1週（9週連続で実施）まで復興支援募金に取り組んでいます。
3月20日までの集計額（店舗含む）は892,827円です（現在も継続中）。

②東日本大震災犠牲者追悼式 あいち・なごや2020 中止

5. 食育・子育て活動

① コープあいちの食育推進

「私の健康、食習慣チェック活動（BDHQ）～スープで味体験～」の取り組みが地域で広がっています。

名古屋北（6人（2回目3人））、名古屋南（3人）、東三河（5人）で開催されました。参加者からは、楽しくおしゃべりしながら交流でき、とても良かったとの多くの声をいただいています。



豊橋南福祉事業所での学習



植田山店での学習

6. 学びの場

①まなびガイドブック

- ・2020年度から新たに「まなびガイドブック」を作成しました。昨年まで発行した「学びカフェ」「産地工場見学ガイドブック」「コープカレッジ」の3つを統合し、ひとつの冊子で対応できるようにしました。
- ・2019年度「学びカフェ」のとりくみは、年間累計で391件、参加者16,180名でした（開催数は前年比▲8%、参加者は前年比▲9%でした）
- ・2019年度「コープカレッジ」は大人289人、子ども13人の参加でした（食生活アドバイザーチャレンジ、豊川海軍工廠を学ぶ、楽しく食べる食育でこどもが伸びる、消費力アップ）。

② コープひろば

各地域で、コープひろばが開催されています。2019年度は34会場251名の参加者で開催しました。

「コープひろば」修了後に、参加者どうしで新しいテーマグループ3つ誕生しました。また個人で既存のテーマグループに参加することになった組合員もいます。



守山会場コープひろば



コープ岡崎北店コープひろば

7. 商品活動

① ラブコープフェスタ

ラブコープフェスタは年度累計では269会場、16,180名の参加でした。

(開催数は前年比+15%、参加者累計前年比▲30%でした)。



2月1日春日井地域委員会主催 (ティア春日井)

② あいちを食べよう 日本の食を大切に運動

オーナー企画は、今年度の取り組みが終了しました。

産地	取り組み件数	金額
Fエース(りんご/梨 品種各種)	135件	1380千円
細江農産物供給センター(みかん)	68件	850千円
JA愛知東(いこいの農園)/ブルベリー、自然薯、そば	47件	407千円
	250件契約	2637千円

前年比74%

④商品開発

・あん入り抹茶最中 (アイス)

西尾センター西尾地域委員会開発検討の「西尾の抹茶」を使用したアイスモナカの商品検討がデビューしました。

西尾地域委員会で試作品の食味への意見、パッケージデザイン、商品名のへのご意見をいただきました。



西尾地域委員会で商品開発検討しました
(次回企画予定 5月4週・6月4週)

・愛知県産真いわしのオイルサーディン

真いわしの頭・腹・尾を取り、遺伝子組換えでない一番搾りなたね油に漬けて加熱加工。開発は国際調理師専門学校と丸星水産との産学連携共同開発商品です。テーマグループ「とよかわ商品ラボ。」で商品開発検討しました



「とよかわ商品ラボ。」で商品開発検討しました
(次回企画予定 6月1週・7月1週)

・愛知県産あかもくとオクラ (しそ風味/焼あご風味)

愛知県産あかもくにおくらを混ぜ、調味液で和えました。解凍するだけ。くらしと共同購入委員会「ぐるめ倶楽部」で商品確かめモニターを実施しました



「ぐるめ倶楽部」で商品確かめモニター実施

(次回企画予定 しそ→5月1週・6月1週 焼あご→5月3週・6月3週)

・日生協共同開発商品くくオリティ>

「COくちどけなめらかホームアイス (バニラ・ミニカップ)」

・ユープあいちの商品を日生協COOPブランドとしてデビューさせる共同開発商品。ミニタイプの3連版。



(次回企画予定 6月1週・7月1週)

仲間づくり・組合員活動 4月～6月の主な取り組み

1. 仲間づくり

(1) 中京テレビ放映と連動して「ハピハピボックス」を旺盛に地域にお知らせします

子育て世代への重点の取組として、引き続き積極的に地域の助産院や産婦人科、幼稚園、保育園への案内もすすめます。組合員への案内や受け取った方の声と紹介活動とも連動します。WEB、SNSを活用した発信もすすめます。



(2) 地域に根差した仲間づくりをすすめ、コープあいちをお知らせします

地域との連携をすすめ、カインズ、カーマ、コジマ電気、赤ちゃんデパート水谷など、地域の企業との連携や、赤ちゃんマタニティフェアなどでお知らせをすすめていきます。新型コロナウイルスの状況も踏まえながら子育て世代が多く集まる大規模イベントへのブース参加も検討していきます。コープ宅配や良さ、子育て支援の取組中心にお知らせします。



(3) 利用をお休みされている方や新しくご加入された方へのご案内活動の継続的实施

利用をお休みしている方や新しく利用を始められた方の声をお聞きすると、「何を利用していいかわからない」という声が多数あります。まずは、コープ商品の良さを伝える活動と困りごとを聞くことを組合員に行います。お休みされている組合員には、ハガキでの案内や訪問活動をする中で利用のしやすさや、コープ商品の良さ、美味しさを伝える活動をすすめます。新型コロナウイルスの影響で、お買い物に困っていらっしゃる方へのお役立ちも意識して活動をすすめます。

(4) 組合員満足度向上と紹介を連動して取り組み、春の活動へつなげていきます

地域担当者は、組合員との対応の品質を高めることで、「またあなたから利用したい」と思われる職員を目指します。コープ商品を通して組合員と一緒に作った仲間づくりの輪（紹介活動）を広げます。

接遇研修を通して、安心と信頼を笑顔でお届けする職員育成もすすめます。

(5) WEB広告やSNSからのお知らせをすすめます

若い世代に向けてのお知らせを、スマホなどの媒体からも広げていきます。コープ宅配のお知らせリーフレットの活用もQRコードを読み込んで、WEBからご利用を検討いただける仕様を意識してすすめます。「LINE」のお友達登録からの仲間づくりやママアプリへの広告出稿なども検討をすすめます。様々な場面でコープあいちを選んでもらい、気軽に資料請求して頂ける取り組みを広げていきます。

2. くらしを守る運動

地域の活動グループと各ブロックが連携し、身近な地域で関心を持っていただけるよう地域での取り組みをひろげます。

・4月以降のすべての組合員活動(組合員の自主活動を含む)については新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえた対策方針にそって活動の再開・中止延長を判断します。

・「環境活動」、「平和活動」を重点とし、復興支援・防災活動は継続した取り組みをすすめます。学びの場、食の安全安心、食育・子育て、国際交流・協力活動、消費者運動など、組合員の主体性を大切にした活動を広げていきます。

①環境活動：コープあいち環境方針4つの柱のもと6つの重点課題を推進します。

<組合員とともにすすめること>

a. 環境家計簿：とりくみ内容の見直しを行います。

b. プラスチック削減について、プラスチック使用量を減らした新パッケージに変更した商品などをお知らせし、利用を通じた使用料削減のために普及に努めます。

②平和活動：「平和活動・国際協力活動の考え方」を基本に推進します。

a. 被爆者国際署名の促進：被爆75年、2020年は署名の最終集約年度でもあり、7月に署名用紙を配布してあらためてとりくみます。

b. 平和行進(5/31～6/11)：新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえて、平和行進は行わないことになりました。

c. 平和学習会(7/4)：「生協の歴史から戦争と平和を学ぶ学習会」にとりくみます。
(新型コロナウイルスの感染状況をふまえて中止になる場合があります)

7/4(土) 10:00-12:00、本山生協文化会館

講師 斉藤嘉璋(よしあき)さん(元日本生協連常務理事)。

c. 2020 ピースアクション in ヒロシマ(8/4～6)：次世代継承を目指してとりくみます。

③復興支援・防災活動(あいちでの備え)

a. 福島・岩手との交流：商品利用を通じた支援を継続します。現地訪問企画については新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえて判断します。

b. 地域での防災意識の向上：新しい「まなびガイドブック」完成に伴い、関心の高い防災関連商品やローリングストックなど、商品を通じた地域での備えや、防災カフェ、防災時食クッキング等など、防災意識を高める取り組みを地域に広げます。

④食の安全安心、食育・子育て：BDHQを使った健康づくり支援企を各ブロックで広げていきます。

まずは、自分の食習慣をはかる(知る)ことから始めませんか？

各ブロック、組合員活動支援部へお問い合わせ、お申込み下さい。

3. 商品活動

①COOP商品60周年組合員総選挙の取り組みを大いにとりくみましょう。

②刷新した「まなびガイドブック」を地域で推進します。

③「あいちを食べよう」では、産消提携・産直を事業の柱に「商品開発商品」や「地産地消商品」に取り組みます。センター企画の地場商品も広げていきます。商品改善・開発は、東海コープ商品部とも連携し栽培自慢20周年の取り組みを行います。

「組合員参加と運営のしくみ」について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、組合員活動を中止しておりますが、再開後、組合員のみなさんに提案し意見をいただきながらすすめてまいります。

1. 柱1 利用を通じて声をだす仕組み

(1) くらしとお店委員会、店舗運営委員会のあり方について

理事会では、店舗の持続可能な事業への転換をめざし、新たなコープあいちの店舗政策を検討しています。新たな店舗政策は、コープあいち発足から今日までを組合員の声をくみ取りつつ、10年の実績を踏まえ様々な面から総括し、今後コープあいちの店舗としてどうあれば存続し続けられるのかを話し合い方針化していきます。

その中で、くらしとお店委員会、店舗運営委員会については、現在「地域の応援団」として多様な活動で組合員がお店を支える役割を担っていただいています。しかし今日的な課題として、新たに参画する組合員を増やすことや気軽に参画できるしくみが課題となっています。そのことも踏まえながら、今後のあり方について委員会のみなさんのご意見も伺い検討します。検討にあたっては、組合員組織政策(組合員参加と運営のしくみ(柱2)の見直しについて)と関連があることから同期をとってすすめていきます。

また、店舗の重要な事業改革である「事業継続に関する基準」の見直しについても、同時にご意見を伺いながら検討できるようにしていきます。

2. 柱2 身近な地域で関心に基づいて組合員活動に参加する仕組み

(1) 昨年1年かけて話し合ってきたことをふまえて「身近な地域で関心に基づいて組合員活動に参加する仕組み」について大枠の提案を予定しておりました。

今回、ブロック連絡会が中止になりましたので、組合員活動の再開と共にご説明についてご案内をさせていただきます。

(2) 1年かけてルールなどについての詳細を提案し、意見を頂きながらすすめます。

3. 柱3 意思決定に参加する仕組み(総代制)

(1) 組合員の代表である総代550人が組合員の実態に近づけるよう、幅広い年代や事業から選出するようにすすめます。

(2) 総代の役割を果たせるよう学びを大切にしながら、意見を出しやすい参加しやすい運営に努めます。

(3) 組合員だれでもが担いあえる総代制度となれるよう、資料や言葉づかいをわかりやすく見直します。

(参考資料) 地域委員会、くらしのテーマグループ、
お店の委員会、子育てひろば、ふれあいひろばの登録状況

1. 地域委員会、くらしのテーマグループの登録状況

(1) 登録状況

2020年3月末現在の登録状況

- ◎コープあいち地域委員会：登録31
- ◎くらしのテーマグループ：登録138（年間 +3）
- ◎お店の委員会：登録16
- ◎子育てひろば：登録14（期首 -2）
- ◎ふれあいひろば：登録16（期首 -1）



©やなせたかし

「総代選挙管理委員会」委員の推薦のお願い

コープあいち 機関運営広報部

地域活動おつかれさまです。

11月1日から任期が始まる2021年度総代の選出にかかわって、総代選挙を管理運営する総代選挙管理委員となっただけの方の推薦をお願いします。

選挙管理委員の指名をお受けいただくにあたっては、以下の役割と会議への参加についてご確認ください。

【総代選挙管理委員の役割】

- ・ 総代選挙規約に基づき、総代選挙を管理運営します。総代選挙全体に責任を持つ立場であり、地域組合員組織への報告等の義務は負いません。また、総代に立候補することはできません。
- ・ 総代活動にかかわる日程のご案内を、総代と同様にさせていただきます（任意参加）。総代に送付している資料も任期中は送付させていただきます。

1. 選挙管理委員は選挙区（ブロック）ごとに、2名の方を推薦してもらうことになります（居住地の選挙区に基づいて）。**5月16日（土）までをお願いします。**
2. 選挙管理委員の推薦については特にブロック連絡会対象のみなさんでなくても構いません。お問い合わせは各ブロックへお願いします。
3. 第1回総代選挙管理委員会を、**6月19日（金）午前10時半～12時**で開催します。
会場は、未定ですが金山駅付近を予定しています。
 - ・ 第1回では、委員長の互選や公告内容の確認などを予定します。
 - ・ 第2回は、10月に開催を予定します（第1回の時に相談）。立候補届を審査し当選者を確定します。

<予定の選挙区> 4月7日の理事会で議決しました。

選挙区	選挙区内の行政区
東三河	豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村
西三河	岡崎市、碧南市。刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、幸田町、豊田市（下山地区のみ）
尾張東	名東区、瀬戸市、豊田市、尾張旭市、日進市、長久手町、豊田市（下山地区除く）
尾張南	緑区、半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、豊明市、みよし市、東郷町、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町
尾張北	一宮市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、岩倉市、大口町、扶桑町
名古屋北	千種区、東区、北区、西区、守山区、清須市、北名古屋市、豊山町
名古屋南	中村区、中区、昭和区、瑞穂区、熱田区、中川区、港区、南区、天白区、津島区、愛西市、弥富町、あま市、大治町、蟹江町、飛島村

以上